



## を見つめよう 意見を交換

市政を学習し、婦人の社会参加を進めようと、恒例の市政会議が、月十三日、市役所大会議室で開かれました。

これは、市政の学習を深めることも、市政発展の一助になればと、南国市連合婦人会（西森律会長）が毎年開いているもので、今年で二十六回目を迎えました。

婦人会から約五十人、市執行部からは、小笠原市長をはじめ、吉本、浜田両助役、関係各課長らが出席。また、今回は議員定数の削減のことが重要議題に上がっているとあつて、岡崎議長をはじめ、ほとんどの議員が出席して、婦人会が各地区で行ったアンケート調査をもとに熱心な討議が行われました。

●現在、職員の人員費はどうなっているのか。また職員数削減の計画はあるのか。

○総予算百五十七億八千六百四十五万円のうち、職員給与は二十六億七千八百二十一万円、一七％となっている。

職員数削減の方法としては、現在、事務改善（電算化導入等）が着々と進んでおり、それが軌道に乗れば職員数は減ってくる。六十二年度を最後に退職者の補充は行わない方針だ。



●市における婦人の登用状態はどうなっているのか。

○採用は男女の区別なく行っている。管理職はいないが、三人の係長がいる。今後、もっと女性を登用する予定だ。

●市の税率は、他市町村と比較してどうなっているのか。税金の徴収状況と滞納者に対する処置はどうなっているのか。

○他市と違っているのは固定資産税で、税率は標準税率一・四％に對して一・六％となっている。滞納対策として、従来は委託徴



収を行っていたが、五年前から職員が徴収に回っている。六十一年度から専従の収納係員五人で臨時徴収や納税のお願いに回っており、徴収率も上がってきている。十分とは言えないが、徴収により税の公平さを確保する立場で今後さらに努力したい。

口座振替制度が六十二年四月に発足することになっている。今後とも税務行政に理解と協力をお願いしたい。

●六十年度決算における国保税の滞納が、一億三千四百三十二万円、欠損金三千九百九十万円ということだが、税金の徴収は適正に行われているのか。欠損金の内容はどうなっているのか。また、過剰診療に対する指導は行われているのか。

○欠損金は、住所の問題などで五年間徴収できず、時効が完成したことによるものだ。野放しにできる問題ではないので、追跡調査等を行っており、公平公正な課税を心がける。過剰診療については、一件一件について厳正な審査を行っている。

## 婦人の立場で市政 今年も活発に

第26回  
市政会議  
市連合婦人会



### 市政会議に出席して

細川 良（上野田）

昨春、高知市内の会社を退職して、初めて婦人会の活動に参加しました。そのため、市政会議がどのようなものかも知らず、発言する会長さんを応援する意味で出席しました。

まず驚いたことは、御多忙にも



これは知的学習以前の問題であるので、今後、学校と家庭の二人三脚で計画的に勤労学習を進めなければならぬと考えている。

●尿処理施設の改善工事の内容について説明してほしい。また、一日も早く恒久施設の建設を。水分は四年ほど前から複合ラグ

かわらず、市長さんをはじめ、要職の皆さん、並びに市議会議員の皆さんが一堂に会しての会議であることでした。私たち婦人会の一人一人の意見をいかに大切に取扱い、それに対する答弁が一つ一つ誠意をもってなされていることが伺われ、本心に力強く感じました。

今後、南国市発展のために、よりよい市政会議が行われるよう、心より願います。本心により勉強になりました。



イン方式で処理している。色抜きはしていないが、BOD（生物学的酸素要求量）は法で定められた値になっている。今後は、複合ラグ方式ではあるが、その他の処理は高知市などと変わらない処置を行う。色抜きして処理した水は、浸透法で処分する。その改善に必要な金額は二億五千万円となっている。これは当面の処置であるので、できる限り早く恒久施設を建設するよう努力する。

●ごみ収集ステーションをきれいにしてほしい。不法投棄についても指導を。

○ステーションの美化や不法投棄については、各部落で注意し合うように、特に婦人の皆さんにお願いしたい。自分たちのごみは自分たちで処理するという気持ちで、高知市のように交替で監視員を出してはどうか。

そのほか、市民休暇村や後免町商店街、保護家庭の見直しの問題等についても話し合われました。

また、質問が議員定数のことに移り、「定数は削減してもよいの

ではないか」という意見が出ると、出席した議員全員が発言を求め、「削減すると市民の声が反映されなくなる」「財政再建には議員が範を示すべきだ」等、それぞれの立場で賛成、反対の意見を述べ、活発に討議が行われました。

### そのほかの意見

- 青少年の主張や進歩青少年の表彰を継続してほしい。
- 公民館事業がマンネリ化している。
- 生涯教育に力を入れてほしい。
- 公有地の管理が不十分。
- 職員が多過ぎるのではないか。
- 担当職員がいなくてもほかの職員が対応できる体制はできないか。
- 昼休みの窓口業務に感謝している。
- 職員は制服を着用し、名札を着けるように。
- 広報の遅配が多い。
- 同和対策は、援助ではなく、地域の人々が積極的に活動できるように努めてほしい。
- 検診の受診率は伸びてきているが、健康問題の市民への浸透をもっと図ってほしい。
- 観光行政について市民の多くが参加できるような企画を。
- 市道の整備を早急に。
- 早期に下水道の実現を。
- 市の都市計画を説明してほしい。